

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2024年9月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで62年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2025年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

**放送批評懇談会**

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



&lt;お問い合わせ先&gt;

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島  
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F  
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510  
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2024年9月度ギャラクシー賞月間賞

**新宿野戦病院**

7月3日～9月11日放送 22:00～22:54 フジテレビジョン

ラスト2話の「コロナの次のウイルス」の取り上げ方が秀逸だった。コロナ禍の反省が生かされないまま新しいウイルスに対応する様子が「変わらない日本」への痛烈なメッセージになった。ト一横、ホストクラブ、キャバクラ、路上生活者、在留外国人など、新宿の今の空気を切り取っており、後々見ても貴重な作品になるだろう。

**NHKスペシャル「封じられた“第四の被曝” —なぜ夫は死んだのか—」**

9月15日放送 21:00～21:55 日本放送協会

第五福竜丸事件から4年後の1958年、米国の太平洋上水爆実験は止むこと無く継続しており、そんな中で海上保安庁の船「拓洋」「さつま」が被曝、乗員の中から死者まで発生していた。しかし政府はこの事案を放射能被害とは認めず、事件は歴史の中で埋没。これをしっかりとした取材姿勢で丁寧に掘り起こし、国家の非情を考察する。

**テレビ朝日開局65周年記念 ドラマプレミアム「終りに見た街」**

9月21日放送 21:00～22:54 テレビ朝日

山田太一の小説を宮藤官九郎脚本にて3度目のドラマ化。クドカン的な大胆自由なデフォルメをあえて施さず、原作の持つ切実な意図をきちんと踏襲しているところには、制作陣のこの物語への深いリスペクトを感じさせた。タイムスリップから瀕死状態で現代に戻ってきた主人公が見つめる「絶望」が、現実にならぬことを強く望む。

**連続テレビ小説「虎に翼」**

4月1日～9月27日放送 8:00～8:15 日本放送協会

日本初の女性弁護士・三淵嘉子をモデルに、その人生軌跡の姿を借りて現代社会の格差や構造の矛盾、不条理といった問題へとつなげた。それらの疑念を果敢に訴えた脚本・吉田恵里香の覚悟ある姿勢、そしてその想いを見事に具現化した役者たちに拍手を送りたい。生硬になることなく、真っ当な人情ドラマとして成立させたことにも敬服。

★詳細は月刊誌「GALAC」2024年12月号に掲載します